

# 石山

新宿区立戸山小学校

## 豊かな想像力も育みたい

校長 古谷 勉

10月5日の「教師の日」に合わせ、PTAの皆さんから教職員へのメッセージをいただきました。至らぬ点が多々あるにもかかわらず、心温まるメッセージをいただき心より感謝申し上げます。励みになります。先月は、保護者の皆様にご協力をいただき、秋の読書旬間を実施しました。短い時間でしたが、保護者や教員の読み聞かせに浸り、子どもたちにとっては心豊かな時間となりました。

「令和5年度の国語に関する世論調査」（文化庁）によると、1か月の間に1冊も本を読まない人は、62.6%。その内、毎日「本以外の文字・活字（SNSやインターネット上の記事などを含む）による情報を読む機会」のある人が75.3%と、日本人の読書離れが顕著になっています。インターネット等の進歩により、読書以外にも魅力あるものが増加したことが要因と考えられます。かつては電車内などで新聞や本を持つ姿が散見されましたが、今やスマートフォン一色。スマートフォンを垣間見ても、新聞の電子版やインターネット上の記事に留まらず、動画やゲームを楽しんでいる方、音楽を聴いている方と様々です。

一方、読書の効果としては「語彙が増す」「教養や知識が身に付く」などが考えられます。中でも児童期に大切にしたいのが「想像力が豊かになる」です。書いてあることから書いていない事象を想像し、実際には味わえない世界を体験することは、子どもの内面を豊かにするはずです。私自身、『フランダースの犬』で涙し、『怪人二十面相』シリーズでは明智探偵と二十面相の闘いに気持ちを高ぶらせ、『二十四の瞳』では大石先生と島の子どもたちの触れ合いに、心が温かくなったことを記憶しています。アニメや漫画も好きでしたが、言葉をもとに自分で描いた想像の世界は、印象に強く残っています。

これから生きる子どもたちには、様々な情報を入手し活用する能力が求められます。その能力を人々の幸せに役立たせるには豊かな想像力が不可欠です。タブレットなどの活用を推進し情報活用能力を養うとともに、豊かな想像力も育てていく必要があると考えています。

### \*「すぐーる」活用のお願い\*

遅刻・早退・欠席の連絡は、本校ホームページでの登録ではなく、今年度ご登録いただいた「すぐーる」を活用していただきますよう、お願いいたします。

## ふれあい班について

ふれあい班担当

戸山小学校では、異学年交流の一環として月に一度の割合で「ふれあい班活動」（縦割り班活動）を行っています。一つの班に1～6年生の児童が均等に所属するように24の班編成をし、6年生が中心となって毎回の活動を行っています。

6年生はリーダーとして1年生から5年生まで全員が楽しめるような遊びを考えています。時にはうまくいかないこともあります。次回に生かせるよう、相手のことを思いやる振り返りを行っています。1年生から5年生も、共に楽しむことや6年生の姿を見ることで自分たちが6年生になった時の姿を想像したり、感謝の気持ちを抱いたりしています。

今年度はゲーム集会でもふれあい班を用いて活動をしています。関わる機会が増えたことで今までよりも親しみをもって接することが増えたように感じます。これから、どんなよさが生まれてくるのかとても楽しみです。

## 河口湖移動教室（6年）

6年担任

10月16日(水)から18日(金)に、河口湖移動教室に行ってきました。豊かな自然の中、元気いっぱい様々なことを見て聞いて感じて、学んでくることができました。

森林体験では、実際に林業を職業とされているインストラクターさんと一緒に森林を散策したり間伐を行ったりしました。切ったばかりの木の香りはとても珍しく、口々にその感想を話していました。

青木ヶ原樹海のハイキングでは、その成り立ちから木の様子が他の森とは異なっており、ガイドさんのお話を興味深く聞きながら歩きました。カヤック体験では、ペアで息を合わせてカヤックを漕ぎました。最初はタイミングを合わせるのが大変でしたが、慣れると自由自在に操作する姿が見られました。

三日間を通して、自然の中で五感を大いに使って、たくさんのお話を吸収していただくことができました。今回の移動教室で感じたこと、知ったこと、思ったこと、学んだことを、これからも大切に過ごして欲しいと思います。保護者の皆様には、荷物の準備や当日までの体調管理等、ご協力いただき、ありがとうございました。